

東北大学新聞(284号)

号	284
発行年	1998-07-13
URL	http://hdl.handle.net/10097/56046

—そのメリットとデメリット—

学ぶ側の自由が広がる

六月二十五日、第一回98Complineコンサートやミス・オックスフォード全学実行委員会が開ク。執行部の選出や全学祭「ファイヤーストーム」の募集についての説明などは、今年の大祭は「事件」さがあつた。



く太陽の国からく

金田 剛
工学部2年

そして太陽のかなたへ

ミリアー：二年生から専門科目を勉強する前にぜひとも見ておきたかった。塔の外壁に飾られた石の彫刻、それらの演じれるストーリー、天に向かつて伸びる四本のトウモロコシ、それを創った彼の存在、精神力：すべてが覆いかぶさるかにように目の前に迫ってきた。でっかった。何もかも。

供の頃に読んで聞かされた重りなく広がっていくような氣探し回り、現地の人と話をし、眺めた時、彼女が「日本の海って緑色で感ずるけど、こっちの海で青いよね」と言っ

旅の終わりというものには二つの感情が表れると思う。名残惜しさか達成感、望郷の念か。私の場合前者だった。達成感、感動なんてぜんぜんなかった。本当にこれで終わるのか？ もう明日からはザックを背負い、安宿を

恋愛小説なんかを読むと、思わずうなづいてしまうような気が取った口説き文句が出てくる。小説家は、比喩や小説しい言葉を巧みに使ってそんな台詞を作り上げるのである。だが実際には、小説家はどのような言葉で異性の心を射とめようとするのか。それは多くの人が興味を持っていることだろう。

恋愛小説の作家として成功したが実は潔癖症で人間嫌ひ、そんな厄介者メルビンを演じたのは名優ジャック・ニコルソンである。今までの彼の役の中でも最も難しいと評されたメルビン。人付き合いをせす恋愛恐怖症でもあるメルビンが、犬や隣人や女性との出会いの中で次第に心を開いて「まとも」になっていくさまを、ニコルソンは見事に演じきった。六十歳を迎えて、彼の演技はますます円熟味を増してきただけである。ヒロインのキャロル役には『ブレイターの』のヘレン・ハントが起用され、二人はアカデミー賞最優秀主演男優賞・女優賞をそれぞれ受賞した。

最近の映画やアニメや小説では、メルビンのような潔癖な心を持った人物が多く見られる。メディアは現実をしばしば反映するものだから、実際の社会にも潔癖症の人物が少なくないといえることかもしれない。そう考えると、『恋愛小説家』を現実の潔癖症の処方箋として見ることに、価値があるのではないだろうか。

この映画によると、心の潔癖症を治す方法はいい出会いをすることである。それは大との出会いであり、隣人との出会いであり、あるいは異性との出会いである。他者との出会いを重ね、深めることによって、人は他者が自分の領域に入ってくるのを許すことができるようになるのである。

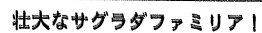
映画中ではそれを「まともな人間になる」と表現している。これこそ、まさにこの映画の主題である。

さまざまな出会いを通して、メルビンは「まともな人間」へと変わっていく。そしてキャロルに恋をし、ついには告白するに至るのである。キャロルへの口説き文句には、女性ならずともぐっと感じて

うものがあつた。

スクリーンの中のメルビンを見ていて思ったのだが、おそらくメルビンは、告白のかなり前からそのための言葉をつくり練っていた。まるで小説のように彼自身の世界の中で紡ぎあげたのである。しかもそれまでの小説とは違ひ、「まとも」になったメルビンの世界で、である。だからこそ、その告白の言葉はリアルで艶のある、優しい言葉だったのだ。そしてそれは、キャラクターだけでなく私たち観衆をも魅了し、感動させるのである。

《シネアート1にて
七月十七日まで上映》



「はなはた、酒を飲むといつた生活は、
左側の方から朝日が見えたまで、
ボクは心にと誓った。どこ
へも飛んでやうのか？ 飛行機
の中であんなに過酷な光をさ
うしんあふれんばかりの
心で、体で、ガツンと何
かをつかみ取れるところま
で……」

「正言正言って帰りがたく
なかつた。旅を続けたかつた。
パレンシアで食べまくったナ
……」

初(はつ)の海外(がいがい)一旅(いちりょ)であった二週(にしゅう)ランバ(オレンジ)を想像(さうが)さ
間(ま)という日々(日々)は私(わたし)にとって長(なが)く
ようであまりにも短(みじ)すぎた。
そんな思(おも)いとは裏腹(うらはら)に、こ
の船(ふね)は日本海(にっぽんかい)上空(くう)まで来てい
た。太陽(たいやう)の国(くに)から「日出(ひで)づる国(くに)へ」。時刻(じこく)は朝方(あさかた)
ほとんどの人(ひと)が寝(ね)ていた。頭(かぶ)の中(なか)に疑問(ぎもん)を残(のこ)し、嫌(きら)でも旅(りょ)の
終(は)わりを感じ(かん)じざるを得(え)なかつた。
まさ(ま)さにその時(とき)だった。

「Findings always come too fast」
They come too fast…
アート・ガーファンクルの
「All I know」の歌詞(かし)の一部(いっぶ)
である。エンディングはいつ
も早くおとずれぬ。早く……
そうだ。この旅(りょ)ももうエンディ
ングに差しかかっている。飛(と)く

一つの旅(りょ)が終わ(は)ればこそここ
らまた新たな旅(りょ)が始(は)まるのだ。
自分(おのれ)自身(みづか)身にピリオドを打(う)たな
い限り、結局(けつくり)は永遠(えいゑん)に來(き)ない。
どこまでも続(つづ)くのだけー
……というわけで今(いま)、また新
たな野望(やぼう)が生(は)まれ、そのため
の準備(じゅんび)をヨツツツとしている
毎(まい)日(にち)です。そして、チャヤシ
が来た(き)らいつでも、ヤシ、行(い)く
ぞと「Vande」と機(き)が出(で)

た。突然、頭の中でリビートと、
される。光はボクに何かを訴え、
えかけるかのようにガンガンと
と迫ってくる。
とたんに体にバ
ワが多すぎる！
左目から入っ
てきた光があた
かも右目からす
べてを貫いて出
ていきそうな強
さであった。
いつかだ！い
つになるかわか
らないけど、いつの日か！
あの太陽のかなたまで行って
やる！そして別の太陽、地
平線の遥かなたから顔を出
す太陽、別の色の太陽、それ
らを見に行つてやる！

「日出づる國、の朝日を見
ては」

それでは

グエル公園

——一度味
を知ったの
で、きつちりと味
わっておきた
いと思います。
次に味わう時
に、もっと上
の高度な味を
味わえるため
にも……。

「Ben waipei
（ベン・ワイペイ）
——まい旅を！」
T・K・KANEDA



から電話がかかってきた。「そうこの前、母さんあなたたまたまきたのよ。こゝまで成長したんだなと思つて。」と母はきざりげなく言出した。確かにあつた、問題児という看板を背負つて生きてきた時代からは想像もつかない結果だろう。結局、母は文章自体に對しては一切何も言わなかった。でも、私とはとても嬉しかった。それはこの言葉が文章に對する評価よりも何よりも嬉しい、私の間接的な誉め言葉だと私は

た▼先日、帰省する機会があった。「今度こそ忘れないで持ってきてね。」と強い口調で言う母に、これ以上の逃避は無理と感じ新聞を携えて実家の門をくぐった▼母は私にどのどの部分に目をさっと走らせるかとすぐには辺りに置いた。本当には興味なくなってきたのかと、毎度見慣れた「不」に

編集後記

私は母からほとんど誉められたことがない。母は百人六人のしか良いと認めるようなのだから、そんな評価の厳しい母が誉め言葉を吐かざるを想いようなことをしてみせたい、と私は常日頃思っていた。▼「東北大学新聞」送ってよ、と再三返す母に対し、私は何時も生返事を繰り返してわざと一度も送らずにいた。どうしても母にだけは私の文章を目られたくなかったのだ。文才のある母のことだから尚雨戸のこと、文句が返ってくるのは必至だ。その文句で今までの努力が否定されたかののような気分と挫折感を味わいた自分が傷つのがとても恐か

当部では毎年8月下旬から始まる補講に合わせて『東北大学新聞』8月号を発行していましたが、諸般の事情により次号発行は10月とさせていただきます。

『東北大学新聞』ではイベント情報を募集しています。毎月20日までにいただいた情報は、翌月10日ごろに発行する号に掲載されます。

①日時②場所③主催者名または参加団体④内容やキャッチフレーズなど⑤問い合わせ先を明記のうえ、当部部室までお越しください。

当新聞の二八三号四面におけるセクハラのシンポジウムについての記事に含まれてゐる「沼崎助教授のお話」の中に「セクハラ（ウの）加害者の周りの人間は、傍観者にならずに内部告発をする」との記述がありましたが、助教授の発言の真意は「内部告発」ということではなく「誠実な対応をしてみたい」ということでした。

ここに誤りを訂正すると共におわび申し上げます。

学友会新聞部からの

お知らせ

川内サークル会館
320号室